



伊藤若冲(菜蟲譜)公開

前半部分:9/17⇒10/30[後半部分:11/1⇒13]



2022年

9月17日^土⇒11月13日^日

(前期展示/吉澤コレクションから見る江戸絵画)



開館20周年記念 特別企画展

コレクションは文化のタイムカプセル



2022年

11月19日^土⇒12月18日^日

(後期展示/吉澤コレクションから見る近代日本美術)



YOSHIZAWA MEMORIAL MUSEUM OF ART, SANO

佐野市立吉澤記念美術館

<http://www.city.sano.lg.jp/museum/>

〒327-0501 栃木県佐野市葛生東1-14-30 TEL:0283-86-2008 FAX:0283-84-3655

○開館時間/午前9時30分～午後5時 ○休館日/毎週月曜日(祭日は開館)、祝日の翌日(9月20日、10月11日、11月4日、11月24日)、展示替期(11月14日～18日)
○観覧料/一般520円(470円)()内は20名以上の団体料金 ※大学生以下・障害者手帳等をお持ちの方とその介添者1名は観覧無料(学生証・障害者手帳をご提示ください)※団体以外は予約不要。現金のみ。入場制限を行う場合がございます。 ○アクセス/北関東自動車道佐野田沼ICから15分(国道293号線)東武佐野線 葛生駅徒歩8分 ○新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡散防止のため、予告なく会期の変更や開催中止、臨時休館となる場合がございます。最新情報につきましては当館ホームページ、またはお電話にてご確認くださいませようお願ひ申し上げます。

上段左から2番目 横山雲南《湖井一敬夫妻肖像》個人蔵 下段左から2番目 松林桂月《竹林吠々鳥図》当館所蔵 ※すべて部分図、他の作品は裏面参照。

コレクションの文化のタイムカプセル

佐野市立吉澤記念美術館は2002年6月に開館し、本年開館20周年を迎えました。これを記念して、当館の活動の核をなす吉澤コレクションを見つめ直し、このコレクションをはぐくんだ佐野の文化的豊かさを紹介する展覧会を開催します。

前期では、コレクションの出発点となった江戸時代後期の吉澤松堂と高久靄厓(近世下野を代表する南画家)との交流に改めて注目し、作品と書簡5通などの資料を紹介。また高久隆古・山本菜谷ら、靄厓の次世代との交流を示す作品・資料により、「関東南画の庭」たる両毛地域における画家たちの活動の実情を紹介。あわせて、当館で最も有名な伊藤若冲(菜蟲譜)を展示し、「若冲ブーム」と共に歩んだ20年を振り返ります。

後期では、吉澤象水・慎堂・晃南による明治から昭和初期の収集活動に注目。江戸期以来の画家と受容者たちとのネットワークを通じた収集活動から、近代的な美術市場での収集へと移行し、対象となる作品も変化し広がった様子をご覧いただけます。

さらに、前期・後期を通じて、人見伝蔵・丸山瓦全・篠崎源三ら、栃木県内の研究者たちと吉澤家との関係を示す作品・資料を中心に、当地において美術史の一角が編まれた様子を示します。特に、足利の考古学者で天明鋳物研究の基礎を築いた丸山瓦全は、幼少期を葛生(佐野市)の吉澤家で過ごしています。

江戸/東京から比較的近い佐野で美術を楽しんだ人々は、主体性を持った受容者であり、美術の歴史の一端を担った存在です。本展では吉澤コレクションと当地域の作品・資料群を読み解くことで、佐野の文化力の高さを知り、江戸～近代の日本美術の足跡をたどります。さあ一緒にこのタイムカプセルを開けてみましょう!

【その他の主な展示作品】

- ▼前期:高久靄厓画「大達詩仏題『芦華図』、吉澤松堂画「高久靄厓賛『風竹図』、枚田水石『墨竹図巻』*、吉澤松堂『過眼録』*、大橋凌雅「吉澤松堂宛書簡」*、高久隆古「山水図」*
- ▼後期:福田鳴鶴『群仙祝寿図』、王欽古画「吉澤象水賛『桃李園夜宴図』*、小堀頼昌『高殿』、川合玉堂『孟母断機』

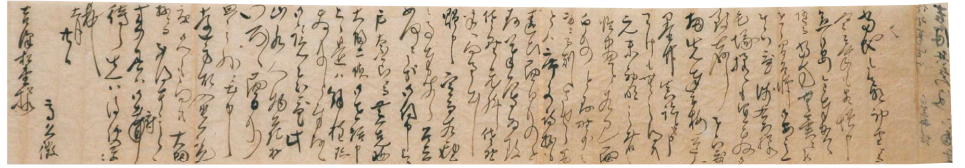
【前期展示/吉澤コレクションから見る江戸絵画】

2022年 9月17日(土) ⇒ 11月13日(日)



伊藤若冲《菜蟲譜》重要文化財(部分)

若冲ブームと共に歩んだ20年



高久靄厓書簡「吉澤松堂宛(11月20日付)」*

谷文晁門の俊秀・高久靄厓(下野出身)は國家兼鑑定家?



高久靄厓画「小山露外賛(山中読書図袋戸)」*



靄厓の書師とも仲良し



高久靄厓画「梅花道人墨竹譜」(部分)* 靄厓が出版した墨竹図譜



山本菜谷「吉澤松堂夫妻肖像」(部分)

靄厓門人が描いた肖像画

通期展示

丸山瓦全のために写す
天明鋳物の名品

香取秀真
「鑄銅梅竹文透約灯籠写」*

初公開

靄厓伝書者の取材

人見伝蔵
「高久靄厓伝」個人蔵

初公開

築業譜を買ったのはこの人?

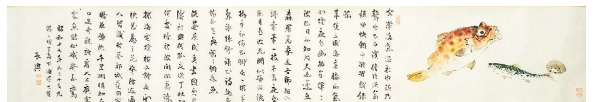
吉田三郎
「二代吉澤兵左像」*



田崎草雲「鍾旭図」

橋本雅邦「竹林栗風」

美術市場の良き顧客として



小室翠雲「下浦漁游詩画巻」*

南画顕彰と近代南画家たち



富岡鉄斎・幸野謀嶺ほか「不求工親自在書画帖」*

森川松之助「吉澤慎堂夫妻肖像」*

【後期展示/吉澤コレクションから見る近代日本美術】

2022年 11月19日(土) ⇒ 12月18日(日)

「湯井一敬夫妻肖像」(表面)、「高久靄厓伝」以外は吉澤コレクション。
*は当館寄託。表記の無いものはすべて当館所蔵。

【会期中の催し物】参加の際はマスクの着用をお願いします。また流行状況により中止・開催方法が変更になる場合があります。当館HP等でご確認ください。

1) 陶芸体験教室「器に描く若冲」

講師: 迎泰夫氏(陶芸家)
日時: 10月1日(土) 午後1時~午後4時
会場: 地域交流センター(美術館内)
定員: 15名(要事前申込、低学年は保護者同伴)
参加費: 3,000円 持ち物: 筆記具・色鉛筆

2) 展覧会のみどころトーク 「タイムカプセルとしての吉澤コレクション」

講師: 当館学芸員
日時: 10月15日(土) 午後2時~3時
場所: 地域交流センター(美術館内)
※無料、当日先着順(15名)

3) 作品鑑賞会 ~当館学芸員とご一緒に~

日時: 9月17日(土)、11月3日(木・祝)、
11月19日(土)、12月3日(土)
各日午後2時~(40分程度)
場所: 美術館展示室(エントランス集合)

ごいっしょに ~佐野の文化散歩~

※休館日などについては、各館にお問い合わせください

佐野市葛生伝承館 0283-84-3311 (入館無料)
「吉澤人形頭展」7/9(土)~9/25(日)
「牧歌舞伎展」10/8(土)~1/22(日)

佐野市葛生化石館 0283-86-3332 (入館無料)
「歯の進化の話~今も昔も歯が命~」展7/16(土)~11/23(水・祝)

佐野市郷土博物館 0283-22-5111
第76回企画展「古代三叢山周辺の生産遺跡と役所・寺院」[有料]
9/23(金・祝)~11/23(水・祝)

佐野市人間国宝田村耕一陶芸館
「「かけ算」で知る田村耕一の作陶」7/1(金)~11/6(日)
「田村耕一と彫刻家田村了一展」11/11(金)~2/26(日)

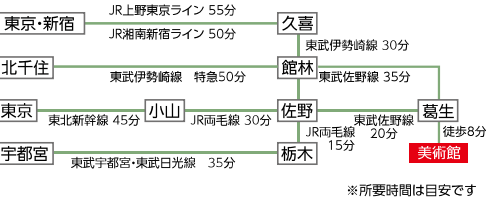
第10回佐野ルネッサンス鑄金展

[事務局: 0283-20-3044] (入館無料)
歴代の大賞を受賞した金属造形作品を展示します
9/24(土)~9/25(日)
会場: アルシオーネ・コート佐野(佐野プレミアム・アウトレットそば)

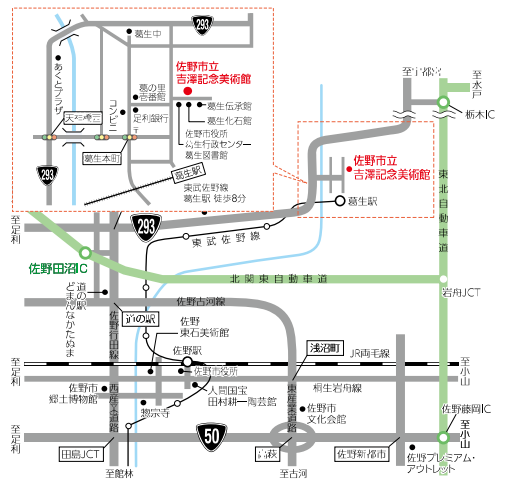
美術館へのアクセス

車 北関東自動車道佐野田沼ICから15分
→国道293号線を利用
→葛生行政センター北側
※宇都宮中心部から60分

電車 東武佐野線 葛生駅徒歩8分



※所要時間は目安です



WEBコンテンツ
「おうちで吉美」
はじめました

ご来館の前に! 新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡散防止のため、臨時休館・期日等が変更になる場合がございます。最新情報は、当館ホームページまたはお電話にてご確認ください。